



ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyaminami/>
代表メールアドレス ky-e-kamariyaminami@city.yokohama.jp



令和 6年 1月 10日
横浜市立釜利谷南小学校
1月号

校長 平野 好子

新年を迎えて

新しい年、2024年を迎えました。

新しい年の平穏と多幸を願う元日に、石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震が発生しました。多くの方が命を落とし、けがをされた方も多数おられました。亡くなられた方へのご冥福をお祈りし、被災された方々にお見舞いを申し上げます。また、現地で安否不明の方の救命救助作業、避難されている方への支援に尽力されている方々へ心より敬意を表します。

私事ながら、年末年始を家族で静かに過ごしました。もうすでに成人した我が子たちは、普段はそれぞれ多用を理由に実家である我が家に帰ってくることはめったにありません。ここ数年は、集まったとしても、家族全員がそろって過ごす時間はせいぜい数時間程度でした。この年末は、3日間ほどという短い期間でしたが、久しぶりに家族全員がそろい共に過ごすことができました。家族がそろうということ、そして、何気ない話をするという時間を過ごすことができることに幸せとありがたさを強く感じました。

年末年始は親戚やお世話になった方々へあいさつをする機会も多くなります。日頃なかなか会えない人に会い、その成長ぶりを目の当たりにすることもしばしばです。新年を迎え、あいさつに訪れるからこそ、会うことのできる人がいます。新年は、人との出会いの場であり、成長や健康を確かめ人とのつながりを深める場でもあるのだと感じます。

昔も今も、未来を確実に予想することができたことはありません。突然、予想もしなかったことが起きることの連続です。しかしながら、「もし、～が起こったら」と想像して、日頃から、「どう動くか」や、「未然防止のためにできること」を考え、ものだけでなく心身を備えておくことが大切です。予想し得なかったことが起きたとしても、『自ら課題をとらえて解決しながら、生き抜く力』を子どもたちにつけさせることが、子どもを取り巻く私たちの責任と任務だと思います。

今年は辰年です。干支の中では唯一、架空の生き物であり、伝説上の存在である「龍」です。空想上の存在であるため多くの方が思い描く姿で描かれます。昇竜という言葉から昇天を意味するともいわれ、また、降龍は降臨を意味し、幸福を届けるといわれています。様々な願いをかなえることのできる象徴だともいわれている龍にちなみ、子どもたちが自分の願いをもち、その願いをかなえる指導・支援に全職員で尽力したいと思います。

昨年末、12月20日に発生した本校の変電室に設置された横浜市の「市有施設への再生可能エネルギー等導入事業」における蓄電池装置からの発火事故につきまして、ご心配をおかけしました。保護者の皆様には、児童引き取りへ速やかにご対応いただき、地域の方々にもご理解いただき、ありがとうございました。

今年も、地域の方々、保護者の方々のご理解・ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

